

相談会開催中!

ぴあさぽだより

Open Campus
10th August 2023

オープンキャンパス特別対談

東工大生の素顔

東工大ピアサポーター
公式 X (Twitter)

ピアサポーターとは東工大学生支援センター公認の学生による学生サポート団体です。先輩学生たちが、自身の経験に基づいて、他の学生からの大学生活についての相談に乗っています。そんなピアサポーターの方々に、東工大生のリアルについて対談していただきました!

高校時代

橋本 まず初めに、皆さんはどのような高校生だったか教えてください。

飯干 割と真面目に色々な校内活動をしていましたと思います。私は中高一貫校に通っていたのですが、中三から高三まで学級委員をしていました。部活は高三までテニスをやっていました。

宮谷 私は、優等生でも友達が多い方でもなかったのですが、昼休みにスマホでプログラミングを楽しんだり、SEと会話するような生徒でした。

橋本 高校の頃からプログラミングをしていたんですけど、私は情報系ですが、未だに全然できないです(笑)。当時はどのようなプログラミングをしていたのですか?

宮谷 単語を継ぎ接ぎして適当な返答を生成してくれるSEのようなチャットボットを作り、「僕のお友達♡」といって遊んでました(笑)。

一同 (笑)

橋本 ということは、高校生の頃から情報系に興味があったのですか?

宮谷 高校二年の時までは興味がありました。でも、なくなっちゃいましたね。

橋本 どうしてですか?

宮谷 当時は、チャットボットの返事はオウム返しだったんですね。これではつまらないと感じ、チャットボットを作る熱意がなくなってしまった。そんな時に、筋力を底上げするパスワードスーツの話を聞いて。大学でロボット技術を研究することになり、工学部行きたいと思うようになりました。でも、最終的にはまた変わって生命系を学んでいます(笑)。

参加者プロフィール

藪上楓システム制御系修士1年
学内外の様々なボランティアに参加する慈善活動女子**飯干成美**融合理工学系学士3年
学際的な勉強に励むテニスの王女様**宮谷明**生命理工学系学士3年
生命を相手にしながらロボット作成に明け暮れる”bot”ラバー**橋本龍徳 (取材・文)**情報工学系学士2年
先輩相手の取材で手の震えが止まらなかったピアサポ@修行中

橋本 ありがとうございます。では、藪上さんはどんな高校生を過ごしたんですか？

藪上 私は真面目に見られていた方ですね。高二・高三の頃は、放課後とかによく先生に質問しに行ったりしてたからだと思います。特に物理が好きでも先生のお世話になりました。でもあまり数学は得意じゃなかったな。特に数Ⅲ。

飯干 私も苦手でした。

一同 へえ〜
藪上 それと、部活は剣道部。厳しい部活で、二週間に一回くらいしか休みがないことも結構ありました。

橋本 それは大変ですね。私は文化部であまり忙しくなかったな……

東工大のイメージと実際

橋本 入学前の東工大のイメージはどのようなものでしたか？

飯干 国立理系だから、みんな真面目に勉強する人ばかりなんだろうな、と想像していました。また、よく言われるように女子は少ないだろうとも思っていました。

宮谷 入試において数学の配点が他教科の二倍だから、数学に秀でた人が多いのかなあと思っていました。他にも、文系科目には目もくれず理系科目が好きで得意だったりする人が多い印象を持っていました。

藪上 私は、手の届かないくらい頭のいい人が行く場所っていうイメージでした。あとはやっぱり真面目な印象がありました。

橋本 なるほど。東工大生は真面目で、理系科目に特に秀でているというイメージだったのですね。あと女子が少ないというイメージも（笑）。

では実際に大学に入ってみていかがですか？

飯干 想像通りみんな真面目でした。あと、思ったより女子がいました（笑）。入学前は教室に一人二人くらいしかいないのかと思っていたけど、実際は十人くらいいました。それでも他大学に比べると少なめなので、女子向けの部活が少ない印象です。

橋本 ということは、これから入ってくる*トコジョに新戦力として活躍することを大いに期待したいところですね。

宮谷 想像していたよりは数学系に偏っている人ばかりではなかったですね。入試でも、理科や英語で得点を稼いで合格した人も周りに結構いました。

飯干 私は数学は苦手でした。

藪上 私も！
宮谷 さらに大学に入ってから話だと、必修の単位の中でも文系科目の数は結構多いです。

ただもちろん理系にかなり偏った人達は一足数います（笑）

飯干 英語は結構できる人が多い気がします。

一同 確かに〜！

橋本 藪上さんは入学後の印象はどう感じていますか？

藪上 みんな天才的だなって。身近にいる人みんなが凄い人だとすごく感じていました。

橋本 「凄い人」とは具体的にどのような人ですか？

藪上 大学にはとても色々な人がいるじゃないですか。成績が驚くほど良いという意味ですごいと思う人もいれば、自分にはない発想を持っている人や、知識と教養に富んだ人もいます。そうした自分が「こうなれたらいいな」と目標にできる人が近くにたくさんいますね。

橋本 目標にできる人が周りにいることで、良い刺激を受けられるんですね。

藪上 あと、高校生の頃は明確な正解のある問題を与えられていたけれど、研究室に入ってから正解のない問いを自分で見つけて自分で挑んでいます。

私は答えのない問いに挑む方が楽しいと思っています。

橋本 これが高校と大学の大きな相違点だということですね。

受験生の皆さんへのメッセージ

橋本 では最後に、受験生の方々へのメッセージをお願いします。

宮谷 大学での学びは、将来への可能性を広げます。多少不得意科目があっても得意科目で頑張れば合格できるので、自分自身の持てる力を発揮してください！大変だとは思いますが、頑張ってください！

藪上 私が合格できたのは、周りを気にするのを止めたからだと思います。私は受験生の頃に周囲と自分を比べてずっと悩んでいる時期があったけれど、一番大事なのは合格点に到達すること、そのために毎日少しずつできることを増やしていくことです。

受験生の皆さんも毎日の小さくても着実な成長に目を向けてください。そうすれば結果は必ずとついてくると思います。

飯干 勉強は難しいから時間がかかるけれど、それを頑張っている受験生は本当に偉いと思います。辛くなる時もあるかと思いますが、続けていたら必ず成果が出ます。頑張ってください！ 応援しています！

橋本 みなさんありがとうございます！

*「トコジョ」とは「東工大女子」の略称です。ちなみに「トコダン」は聞いたことがありません。

ピアサポーターによる
キャンパスライフ相談会開催中！

場所 Taki Plaza B1F
対象 高校生・保護者

事前予約不要です！
お待ちしております！

東工大ピアサポーター公式キャラクター
「ピアサポーターマン」